学校番号	3001

令和２年度　バイオサイエンス科

教科	農業	科目	食品化学 (座学)	単位 数	４のうち ２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	食品化学　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・バイオサイエンス科の食品系専門分野の内容について、２年次以降の専門科目を学習するための基礎的な知識と技術を習得する科目です。
・中学校での学習内容も踏まえ、習得している知識からの継続的・発展的な授業展開を行います。
・毎回、前回の授業内容を確認し、食品や化学に関わる身近な情報に興味を持って授業に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

・化学についての興味・関心を高める。
・化学の基礎的な知識を習得する。
・化学の基礎を理解し、農業の各分野で化学を利用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然現象と化学について興味・関心を持ち、農業の各分野で化学を利用する実践的な態度を身に付けている。	自然現象と化学について課題を見つけ、その解決のために知識と技術を適切に活用し、創意工夫する能力を身に付けている。	自然現象と化学について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。	自然現象と化学について、基礎的な知識を身に付け、農業に関連する化学の重要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートの記述	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	物質の構成	○物質の構成 原子 周期表 分子	○	○		○	a:　授業内容について興味・関心を持ち、農業の各分野で化学を利用する実践的な態度を身に付けている。 b:　課題を見つけ、その解決のために知識と技術を適切に活用し、創意工夫する能力を身に付けている。 d:　基礎的な知識を身に付け、農業に関連する化学の重要性を理解している。	授業観察 ノート レポート 定期考査
2学期	化学結合	○結合 電子配置 イオン 化学結合 ○物質の量 原子量 分子量 モル ○酸と塩基 中和	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○	a:　授業内容について興味・関心を持ち、農業の各分野で化学を利用する実践的な態度を身に付けている。 b:　課題を見つけ、その解決のために知識と技術を適切に活用し、創意工夫する能力を身に付けている。 c:　基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:　基礎的な知識を身に付け、農業に関連する化学の重要性を理解している。	授業観察 ノート レポート 定期考査
3学期	酸と塩基の反応	○酸と塩基 モル濃度 中和計算 ファクター	○	○	○	○	a:　授業内容について興味・関心を持ち、農業の各分野で化学を利用する実践的な態度を身に付けている。 b:　課題を見つけ、その解決のために知識と技術を適切に活用し、創意工夫する能力を身に付けている。 c:　基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d:　基礎的な知識を身に付け、農業に関連する化学の重要性を理解している。	授業観察 ノート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。